

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 平成24年7月13日

【四半期会計期間】 第47期第1四半期(自平成24年3月1日至平成24年5月31日)

【会社名】 エスフーズ株式会社

【英訳名】 S Foods Inc.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 村上真之助

【本店の所在の場所】 兵庫県西宮市鳴尾浜1丁目22番13

【電話番号】 (0798)43局1065番

【事務連絡者氏名】 常務取締役管理本部長
安岡信幸

【最寄りの連絡場所】 兵庫県西宮市鳴尾浜1丁目22番13

【電話番号】 (0798)43局1065番

【事務連絡者氏名】 常務取締役管理本部長
安岡信幸

【縦覧に供する場所】 エスフーズ株式会社東京支店
(千葉県船橋市浜町3丁目2番3)

株式会社大阪証券取引所
(大阪市中央区北浜1丁目8番16号)

株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第46期 第1四半期 連結累計期間	第47期 第1四半期 連結累計期間	第46期
会計期間	自 平成23年3月1日 至 平成23年5月31日	自 平成24年3月1日 至 平成24年5月31日	自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日
売上高 (百万円)	33,806	35,411	134,236
経常利益 (百万円)	1,117	1,567	5,174
四半期(当期)純利益又は 四半期純損失() (百万円)	865	691	1,428
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	384	720	2,687
純資産額 (百万円)	34,605	37,544	37,223
総資産額 (百万円)	62,808	68,380	65,222
1株当たり四半期(当期)純利益金額 又は四半期純損失金額() (円)	30.89	24.69	50.99
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	49.9	49.1	51.0

(注) 1 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

3 従来、千円単位(単位未満切捨て)で記載しておりましたが、第47期第1四半期連結累計期間より百万円単位(単位未満切捨て)に変更しております。

4 第46期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

5 第46期及び第47期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

6 第46期第1四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

なお、主要な関係会社の異動は、以下のとおりであります。

(食肉等の製造・卸売事業)

当第1四半期連結会計期間において、連結子会社エスファーム遠野株式会社が株式会社遠野牧場を、連結子会社エスファーム株式会社がマスターファーム株式会社をそれぞれ新規設立したことにより、連結の範囲に含めております。

当第1四半期連結会計期間において、グループ経営の効率化を図るため、株式会社味兆が株式会社ケンシヨクを吸収合併しております。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間における、本四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等は行われていません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間における日本経済は、東日本大震災後の復興需要や政府のエコカー購入支援策などにより一部で回復傾向が見られますが、欧州における国家債務危機や国際競争激化による国内産業空洞化などの不安要因を抱えており、依然厳しい状況が続きました。

また、当食肉業界も、消費者の低価格志向等から、厳しい経営環境にあります。このような状況のなか、当社グループは、環境の変化に対応した営業体制と食肉の生産から小売・外食事業までの一貫経営を推進して、経営体質の強化と安定的な成長を目指しました。

食肉等の製造・卸売事業においては、積極的な設備投資による牛・豚の繁殖肥育事業の拡充に努めました。また、需要の期待できるコンビニエンスストアチャネル専任の営業組織を強化しました。食肉等の小売及び外食事業においては、既存店の活性化、新店の確実な立ち上げなどの収益改善と、昨年12月にグループ化したステーキレストランチェーンの競争力の強化に取り組みました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高354億1千1百万円（前年同四半期比4.7%増）、営業利益14億6千8百万円（前年同四半期比44.6%増）、経常利益15億6千7百万円（前年同四半期比40.3%増）、四半期純利益6億9千1百万円（前年同四半期は、投資有価証券の評価損計上等により8億6千5百万円の四半期純損失）となりました。

続いて、セグメントごとの業績は次のとおりであります。なお、売上高は外部顧客への売上高を記載し、セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

食肉等の製造・卸売事業

売上高は280億8千3百万円（前年同四半期比2.5%増）、セグメント利益は13億5千8百万円（前年同四半期比36.6%増）となりました。

食肉等の小売事業

売上高は51億1千6百万円（前年同四半期比3.7%増）、セグメント利益は3億2千2百万円（前年同四半期比4.0%減）となりました。

食肉等の外食事業

売上高は17億4千8百万円（前年同四半期比51.9%増）、セグメント利益は5千5百万円（前年同四半期2千6百万円のセグメント損失）となりました。

その他

売上高は4億6千3百万円（前年同四半期比45.8%増）、セグメント利益は2千6百万円（前年同四半期比33.3%減）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて31億5千7百万円増加し、683億8千万円となりました。これは主に、季節要因による売上債権の増加及びたな卸資産の増加等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて28億3千7百万円増加し、308億3千6百万円となりました。これは主に、季節要因による仕入債務の増加等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて3億2千万円増加し、375億4千4百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加等によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間の当社グループが支出した研究開発費の総額は1千7百万円であります。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	120,000,000
計	120,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年5月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成24年7月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	32,267,721	32,267,721	東京証券取引所 (市場第一部) 大阪証券取引所 (市場第一部)	単元株式数 500株
計	32,267,721	32,267,721	-	-

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成24年5月31日	-	32,267,721	-	4,298	-	11,881

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成24年2月29日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成24年2月29日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式（自己株式等）	-	-	-
議決権制限株式（その他）	-	-	-
完全議決権株式（自己株式等）	（自己保有株式） 普通株式 4,259,500	-	-
完全議決権株式（その他）	普通株式 27,841,500	55,683	-
単元未満株式	普通株式 166,721	-	-
発行済株式総数	32,267,721	-	-
総株主の議決権	-	55,683	-

（注）「単元未満株式」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式220株が含まれております。

【自己株式等】

平成24年2月29日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有株式 数の割合(%)
（自己保有株式） エスフーズ株式会社	兵庫県西宮市鳴尾浜 1丁目22番13	4,259,500	-	4,259,500	13.20
計	-	4,259,500	-	4,259,500	13.20

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

- (1) 当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。
- (2) 当社の四半期連結財務諸表に掲記される科目、その他の事項の金額は、従来、千円単位（単位未満切捨て）で記載しておりましたが、当第1四半期連結会計期間及び当第1四半期連結累計期間より百万円単位（単位未満切捨て）で記載することに変更いたしました。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成24年3月1日から平成24年5月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成24年3月1日から平成24年5月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人により四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,554	14,628
受取手形及び売掛金	12,104	14,320
商品及び製品	5,474	7,190
仕掛品	1,933	2,077
原材料及び貯蔵品	622	754
その他	2,235	2,311
貸倒引当金	132	133
流動資産合計	37,792	41,148
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	17,976	18,196
減価償却累計額	10,974	11,138
建物及び構築物(純額)	7,001	7,058
土地	9,056	9,069
その他	12,376	12,646
減価償却累計額	9,355	9,529
その他(純額)	3,021	3,117
減損損失累計額	575	557
有形固定資産合計	18,503	18,686
無形固定資産		
のれん	238	154
その他	247	241
無形固定資産合計	485	396
投資その他の資産		
投資有価証券	4,948	4,557
その他	3,622	3,707
貸倒引当金	130	115
投資その他の資産合計	8,440	8,149
固定資産合計	27,430	27,232
資産合計	65,222	68,380

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,729	10,578
短期借入金	4,261	4,659
未払法人税等	1,407	814
賞与引当金	597	791
その他	4,544	4,600
流動負債合計	18,541	21,445
固定負債		
社債	640	610
長期借入金	5,842	5,871
退職給付引当金	795	799
役員退職慰労引当金	144	150
その他	2,036	1,960
固定負債合計	9,458	9,391
負債合計	27,999	30,836
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,298	4,298
資本剰余金	11,952	11,952
利益剰余金	20,121	20,476
自己株式	2,985	2,986
株主資本合計	33,386	33,741
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	436	231
繰延ヘッジ損益	2	1
為替換算調整勘定	537	416
その他の包括利益累計額合計	97	186
少数株主持分	3,934	3,989
純資産合計	37,223	37,544
負債純資産合計	65,222	68,380

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)
売上高	33,806	35,411
売上原価	28,425	29,071
売上総利益	5,381	6,340
販売費及び一般管理費	4,365	4,872
営業利益	1,015	1,468
営業外収益		
受取利息	6	5
受取配当金	4	3
負ののれん償却額	14	14
協賛金収入	27	29
その他	88	108
営業外収益合計	141	159
営業外費用		
支払利息	27	33
その他	12	26
営業外費用合計	39	60
経常利益	1,117	1,567
特別利益		
貸倒引当金戻入額	19	-
店舗閉鎖損失引当金戻入額	9	-
受取補償金	-	9
その他	0	1
特別利益合計	29	10
特別損失		
固定資産処分損	2	8
投資有価証券評価損	2,131	-
店舗閉鎖損失	1	0
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	118	-
その他	15	-
特別損失合計	2,270	8
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	1,122	1,570
法人税等	305	773
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失()	817	796
少数株主利益	47	105
四半期純利益又は四半期純損失()	865	691

【四半期連結包括利益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	817	796
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,182	202
繰延ヘッジ損益	6	4
為替換算調整勘定	13	128
持分法適用会社に対する持分相当額	-	2
その他の包括利益合計	1,202	76
四半期包括利益	384	720
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	367	602
少数株主に係る四半期包括利益	17	117

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年5月31日)
(連結の範囲の重要な変更) 当第1四半期連結会計期間において、連結子会社エスファーム遠野株式会社が株式会社遠野牧場を、連結子会社エスファーム株式会社がマスターファーム株式会社をそれぞれ新規設立したことにより、連結の範囲に含めております。 当第1四半期連結会計期間において、グループ経営の効率化を図るため、株式会社味兆が株式会社ケンシヨクを吸収合併しております。

【会計方針の変更等】

当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年5月31日)
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更) 当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。 なお、この変更による影響は軽微であります。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年5月31日)
(税金費用の計算) 当社及び一部の連結子会社については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

【追加情報】

当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年5月31日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

偶発債務

連結会社以外の会社の金融機関等からの借入に対して、債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成24年 2月29日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成24年 5月31日)
株式会社カーサ	300百万円	株式会社カーサ 300百万円
有限会社すぎもとファーム	100百万円	有限会社すぎもとファーム 98百万円
計	400百万円	398百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第 1 四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第 1 四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)、のれんの償却額及び負ののれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 3月 1日 至 平成23年 5月31日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 3月 1日 至 平成24年 5月31日)
減価償却費	320百万円	387百万円
のれん償却額	107百万円	91百万円
負ののれん償却額	14百万円	14百万円

(株主資本等関係)

前第 1 四半期連結累計期間(自 平成23年 3月 1日 至 平成23年 5月31日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年 5月24日 定時株主総会	普通株式	336	12	平成23年 2月28日	平成23年 5月25日	利益剰余金

2 基準日が当第 1 四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第 1 四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第 1 四半期連結累計期間(自 平成24年 3月 1日 至 平成24年 5月31日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年 5月22日 定時株主総会	普通株式	336	12	平成24年 2月29日	平成24年 5月23日	利益剰余金

2 基準日が当第 1 四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第 1 四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成23年3月1日至平成23年5月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額(注)3
	食肉等の製造 ・卸売事業	食肉等の小 売事業	食肉等の外 食事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	27,404	4,932	1,151	33,488	318	33,806	-	33,806
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,581	220	36	1,838	3	1,842	1,842	-
計	28,986	5,153	1,187	35,326	321	35,648	1,842	33,806
セグメント利益 又は損失()	994	335	26	1,304	39	1,343	328	1,015

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲料水製造・販売事業及び不動産事業等
であります。
2. セグメント利益又は損失()の調整額 328百万円には、セグメント間取引消去 75百万円、各報告セグメントに配分
していない全社費用 252百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社及び一
部子会社の間接部門の一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成24年3月1日至平成24年5月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損 益計算書計上 額(注)3
	食肉等の製造 ・卸売事業	食肉等の小売 事業	食肉等の外 食事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	28,083	5,116	1,748	34,948	463	35,411	-	35,411
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,562	14	26	1,604	10	1,614	1,614	-
計	29,646	5,131	1,775	36,552	473	37,026	1,614	35,411
セグメント利益	1,358	322	55	1,736	26	1,762	294	1,468

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲料水製造・販売事業及び不動産事業等
であります。
2. セグメント利益の調整額 294百万円には、セグメント間取引消去 48百万円、各報告セグメントに配分していない全
社費用 245百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社及び一部子会社の間
接部門の一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)
1株当たり四半期純利益金額又は 四半期純損失金額()	30.89円	24.69円
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は 四半期純損失金額()(百万円)	865	691
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額又は 四半期純損失金額()(百万円)	865	691
普通株式の期中平均株式数(株)	28,009,157	28,007,292

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、前第1四半期連結累計期間は、1株当たり四半期純損失であり、潜在株式が存在しないため記載しておりません。また、当第1四半期連結累計期間は、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年7月12日

エスフーズ株式会社
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 松井隆雄 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 小林礼治 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているエスフーズ株式会社の平成24年3月1日から平成25年2月28日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成24年3月1日から平成24年5月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成24年3月1日から平成24年5月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、エスフーズ株式会社及び連結子会社の平成24年5月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以上

- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。